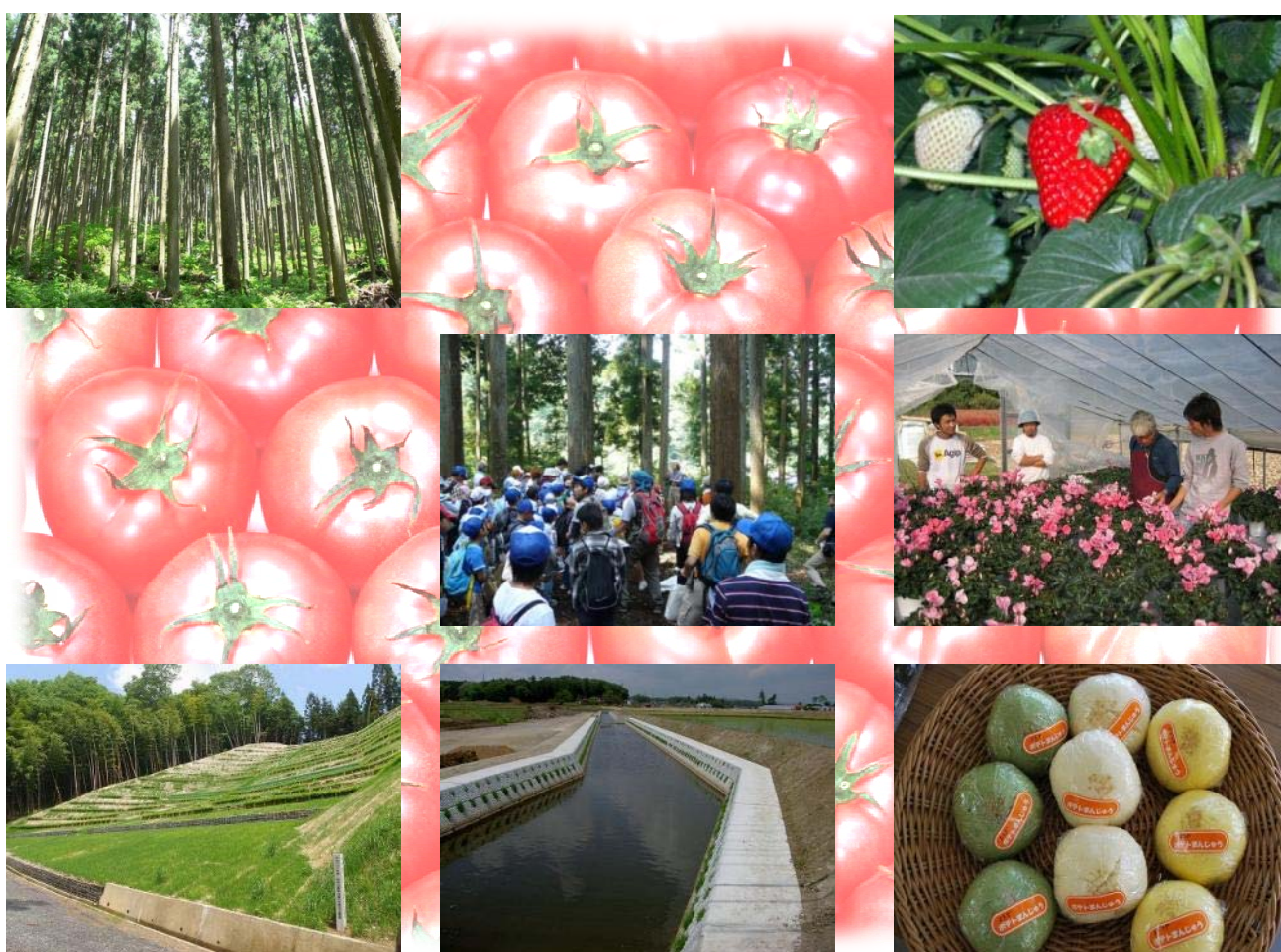


県南地方の農林業

清らかな源流を生かし、次代につなぐ県南の農林業



福島県県南農林事務所
平成22年 8月

1 県南地方の概要

(1) 地勢

県南地方は、首都圏から東北圏への入口に当たる福島県の最南端に位置し、栃木県・茨城県に接し、白河市をはじめとする1市4町4村からなり、その面積は1,233.24km²(西白河地方 612.30km² 東白川地方 620.94km²)で、県土の8.9%を占めています。

東部に阿武隈山系、西部に奥羽山系、南部に八溝山系があり、西白河地方のほぼ中央を北に向かって流れる阿武隈川と東白川地方の南部を南東に向かって流れる久慈川の流域に沿って平野部が開けています。



(2) 気候

県南地方の気候は、複雑な地形と山系の接近によって山岳気候の影響を強く受け、管内西部に位置する西白河地方では比較的冷涼で気温が低く、降雨量が多いのに対し、東南部の東白川地方は温暖で積雪は極めて少ない気候となっています。

なお、白河合同庁舎の標高は356.63mに位置しています。

(3) 人口

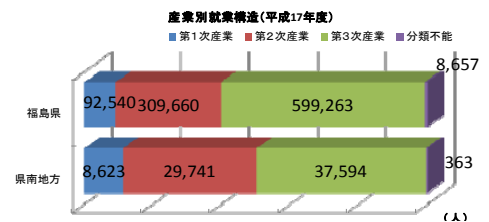
管内の人口は、平成22年7月1日現在、149,897人(50,697世帯)で、県人口の7.4%(世帯数で6.9%)を占めており、その内訳を見ると、西白河地方が76.5%(同77.9%)、東白川地方が23.5%(同22.1%)を占めています。

2 農業・農村・森林林業

(1) 就業者構造

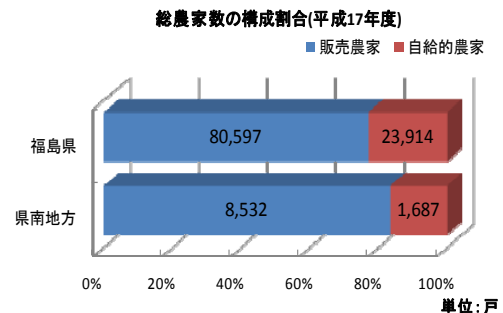
管内の就業者総数(15歳以上)は76,321人で、産業別の内訳は、第1次産業が11.3%、第2次産業が39.0%、第3次産業が49.3%をそれぞれ占めています。

管内の第1次産業就業者の内訳を見ると、農業が96.4%、林業が3.5%、漁業が0.1%を占めています。(H17国勢調査)



(2) 農家数・林家数

管内の総農家数は10,219戸で県全体の9.8%を占め、内訳を見ると、販売農家が83.5%(8,532戸)、自給的農家が16.5%(1,687戸)となっています。また、管内の林家数は、4,473戸で、県全体の10.6%を占めています。(2005年農林業センサス)

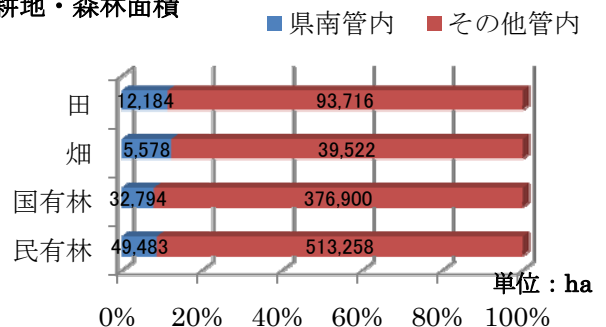


(3) 耕地面積・森林面積

管内の平成21年度の耕地面積は17,762ha(田12,184ha、畑5,578ha)で、県全体の11.8%(田11.5%、畑12.4%)を占めています。(第56次福島農林水産統計年報)

また、管内の平成20年度の国有林・民有林の面積は、国有林が32,794ha、民有林が49,483haで、県全体に占める割合は、それぞれ8.0%、8.8%となっています。(H21福島県森林・林業統計書)

耕地・森林面積

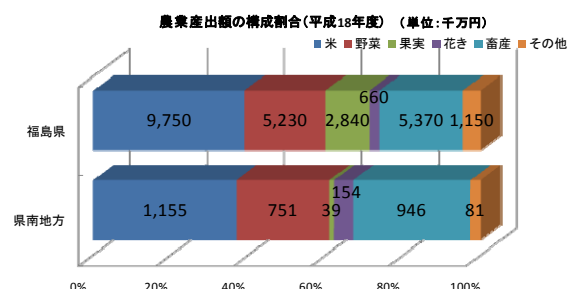


(4) 農業産出額

管内の平成18年度の農業産出額は312億6千万円で、県全体の12.5%を占めています。

管内の農業産出額の内訳は最も多いのが米で115億5千万円で36.9%、次いで畜産の94億6千万円で30.3%、野菜の75億1千万円で24.0%、花きの15億4千万円で4.9%の順となっています。

管内の農業産出額は、県全体の農業産出額が減少傾向にある中で、平成15年までは増加で推移し、平成16、17年には減



少しものの、平成18年には再び増加に転じ、前年より3億4千万円(1.1%)増加しております。

また、農家1戸当たり所得の順位は、中島村(3位)、矢吹町(4位)、泉崎村(5位)となっています。

(第54次福島農林水産統計年報)

(5) 農産物の生産状況

管内における主要農作物の生産は米をはじめ、トマト、レタス、ブロッコリー、しゅんぎくなどです。

平成18年度の管内の米、トマト、レタス、ブロッコリー、しゅんぎくの作付面積は、米が9,873ha※(平成21年度数値)、トマトが124ha、レタスが75ha、ブロッコリーが191ha、しゅんぎくが32haとなっており、県全体に占める割合で見ると、米12.2%、トマト23.8%、レタス47.8%、ブロッコリー29.8%、しゅんぎく26.2%となっています。

平成18年度の管内の米、トマト、レタス、ブロッコリー、しゅんぎくの収穫量は、米が53,350t※(平成21年度数値)、トマトが8,854t、レタスが1,637t、ブロッコリーが2,481t、しゅんぎくが330tとなっており、県全体に占める割合で見ると、米12.2%、トマト29.0%、レタス62.0%、ブロッコリー41.4%、しゅんぎく23.6%となっています。また、トマト及びレタスの収穫量は白河市が県内で1位の収穫量で、ブロッコリー及びしゅんぎくの収穫量は、中島村がそれぞれ県内で2位、3位の収穫量となっています。

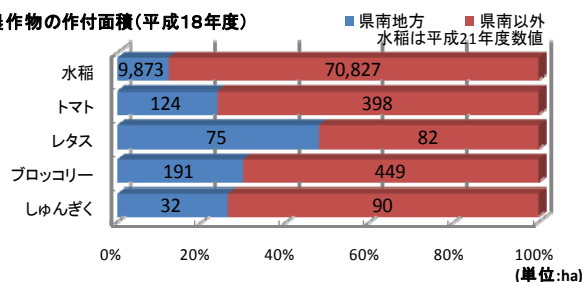
平成19年度の管内の乳用牛、肉用牛、豚の飼養頭数は、乳用牛が4,360頭、肉用牛が10,810頭、豚が45,750頭となっており、県全体に占める割合で見ると乳用牛21.1%、肉用牛12.9%、豚22.2%となっています。また、乳用牛の飼養頭数は西郷村が県内で2位の飼養頭数で、豚の飼養頭数は鮫川村が県内で1位の飼養頭数となっています。

管内の平成19年度の素材生産量は143千m³であり、県全体に占める割合は19.4%となっています。

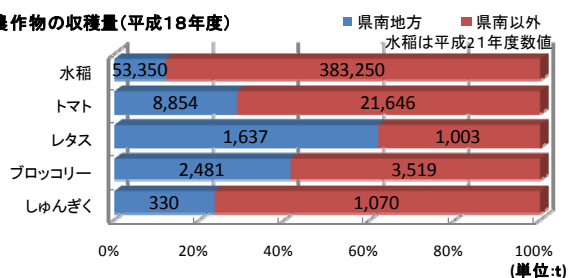
平成20年度の木炭・生しいたけの生産量は、木炭が206t、生しいたけが909tとなっており、木炭は鮫川村が県内で2位の生産量で、生しいたけは白河市が県内で1位の生産量となっています。

(第54次、第55次福島農林水産統計年報、H21作物統計調査、H20年福島県森林・林業統計書)

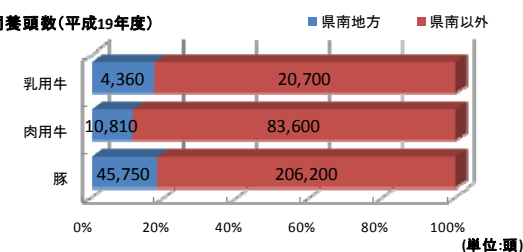
農作物の作付面積(平成18年度)



農作物の収穫量(平成18年度)



飼養頭数(平成19年度)

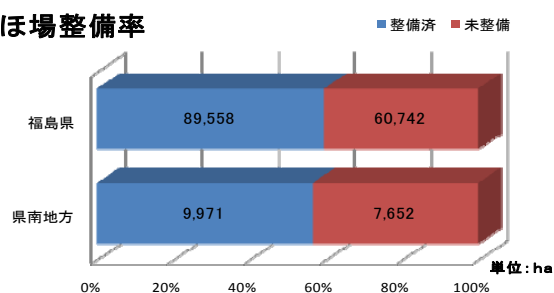


(6) ほ場整備の状況

管内の耕地面積のうち、平成21年度の田、畑を合わせた整備率は56.6%(水田の整備率66.7%、畑の整備率34.3%)となっており、県平均の59.6%(それぞれ69.1%、37.3%)を若干下回っています。

(「福島県のほ場整備率」:福島県農業基盤整備課)

ほ場整備率

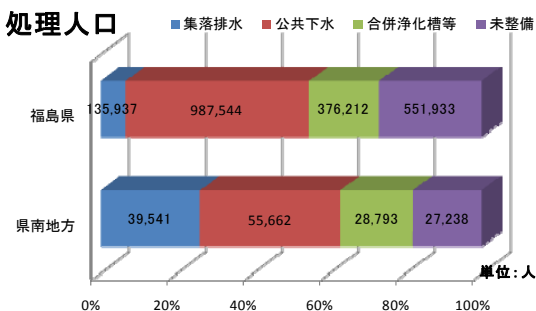


(7) 農業集落排水処理施設の整備状況

管内ではいち早く農業集落排水処理施設の整備に取り組んでおり、平成21年度末の公共下水等を含めた污水处理施設等の普及率は82.0%(うち、農集排31.9%)となっており、県平均の73.1%(うち、農集排9.1%)を大きく上回っています。

(「県内の農業集落排水事業の整備状況」:福島県農村環境整備課)

処理人口

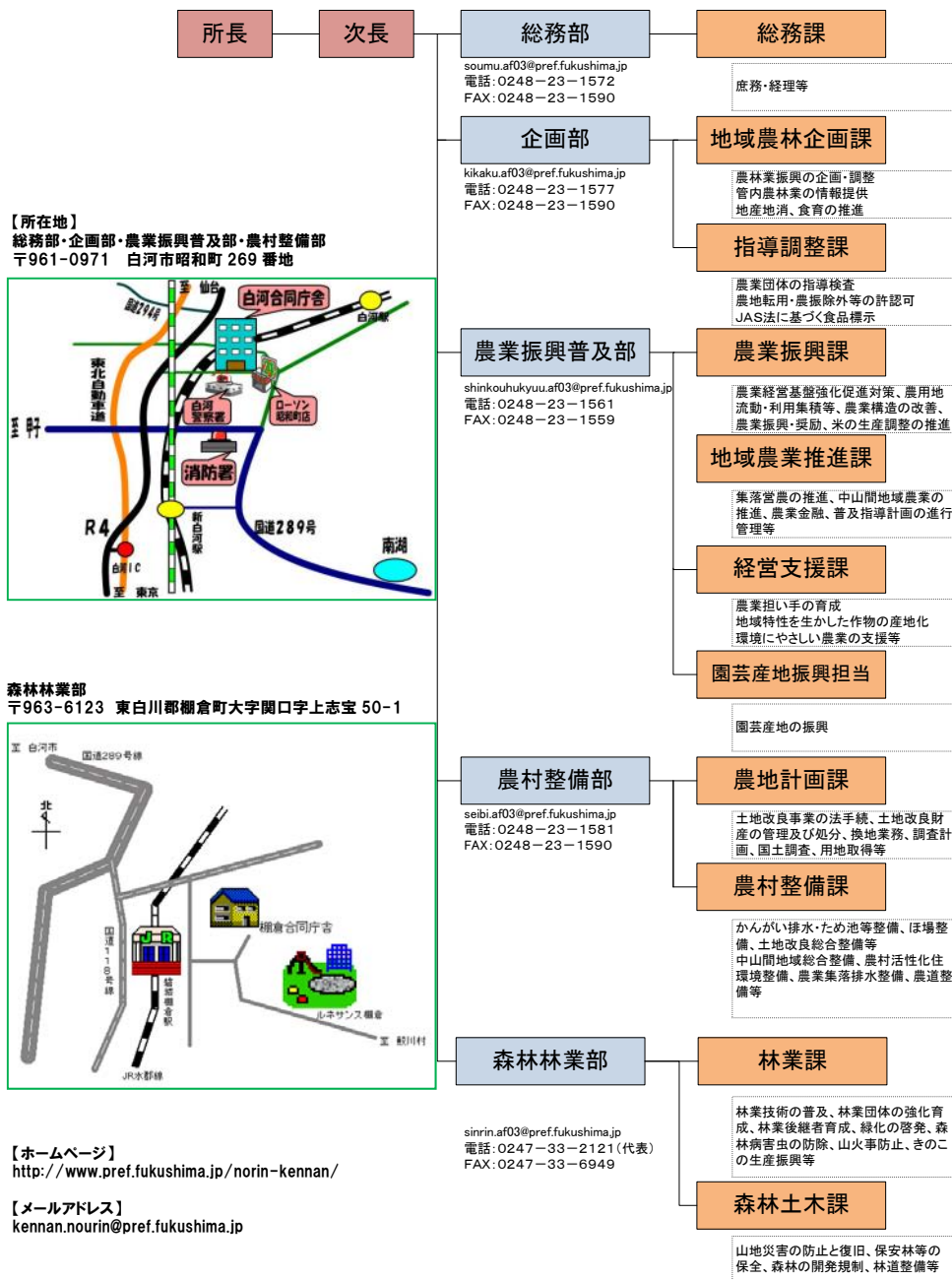


(8) 林道の整備・保安林の指定状況

管内における平成20年度の林道延長は379,945mで、林道密度は7.68m/haとなっており、県平均の林道密度7.22m/haを上回っています。なかでも、東白川郡については10.83m/haと県内で最も高い林道密度となっており、素材生産に大きく貢献しています。

また、管内における平成20年度の保安林指定面積は4,180haで、昭和55年度の保安林指定面積(2,286ha)の183%にまで伸びており、安全・安心のできる暮らしの実現を図るため計画的な保安林の指定と保安林内の森林の維持造成さらには計画的な治山事業を実施しています。(H21年福島県森林・林業統計書)

県南農林事務所組織体制図



【表紙写真】



整備された森林(もり) 東白川地方	県南地方の代表的な 野菜「トマト」	いちごの栽培状況 ふくはるか 棚倉町
	夏休み森林教室 塙町湯岐地内	栽培者研修 シクラメン農家
山地災害 総合減災対策白山事業 (鯉川村)戸倉地区	経営体育成 基盤整備事業長峰地区 (矢吹町)	ポテトまんじゅう (り菜あん報徳店)

編集発行 / 福島県県南農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒961-0971 福島県白河市昭和町 269 番地